

# 大学の入試と学習の一体的な改革を共に考える ～米国高等教育研究者からの示唆～

Envisioning Admissions and College Learning: Sharing Ideas with the U.S.

東京会場 2017年11月17日(金) 15:00-17:50

大阪会場 2017年12月1日(金) 13:00-15:50

現在進められている入試改革は、高校・大学を含む一体的な高大接続改革の重要な要素として位置付けられています。入学者選抜は、志願者の能力、意欲、適性を多面的・総合的に評価する方向への転換が強く求められています。このような大学入学者選抜の改革は、次なる大学の課題として、学生が高校教育までに培った力をさらに発展・向上させるため、アクティブラーニングの充実や学修成果の把握、評価の推進など、大学教育の質的転換をより一層図る必要があります。

本セミナーでは、米国の大学教育改革の第一線で活躍するスーザン アルバーティン先生を交え、入試改革が学生の高校・大学での学習にどのような変化をもたらすのか、また多面的・総合的な評価を入学後の学生の学習へとどのように繋げていくかなど、入試と学習の一体的な改革のあり方について議論していきます。



**開催場所** 【東京会場】 霞が関ナレッジスクエア・スタジオ

(東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート)

【大阪会場】 千里阪急ホテル (大阪府豊中市新千里東町2丁目1)

**主催** 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター

**対象** 大学の入試・教育改革に携わっている教職員(各会場100名)

**プログラム** ・開会の挨拶

・講演1 「なぜ今、高大接続改革か？」

(川嶋 太津夫 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター センター長・教授)

・講演2 「入試データと学習データから見る高大接続」

(和嶋 雄一郎 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 准教授)

・基調講演 「The Values of Collaboration: Examples in Practices from the U.S. (共働の大切さ：米国の事例から)」

(スーザン アルバーティン AAC&U / 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 特任教授)

・パネルディスカッション

・閉会の挨拶



スーザン アルバーティン 先生

AAC&U(全米大学・カレッジ協会)上級研究員および大阪大学特任教授。高大接続に関する研究や実践に携わっている。



参加申込はこちらから

<http://chega.osaka-u.ac.jp>

申込〆切 東京会場：11月10日(金) 大阪会場：11月24日(金)

問い合わせ先

大阪大学 高等教育・入試研究開発センター / 教育・学生支援部入試課入試第三係

Email : [contact@chega.osaka-u.ac.jp](mailto:contact@chega.osaka-u.ac.jp)

※本セミナーは、大阪大学高等教育・入試研究開発センターにおいて取り組む概算事業「多面的・総合的な入学者選抜改善システム」の一環として開催されます。